

平成24年度

事業報告書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

一般財団法人 自然公園財団

事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日)

(1) 当該事業年度における各事業の実績（正味財産増減計算内訳表予算対比）

経常収益(平成24年度)

事業別	経常収益予算額	経常収益決算額	差額	(単位：円)
				達成率
公園施設管理事業	106,002,000	99,014,007	△6,987,993	93%
美化清掃事業	28,276,000	29,153,850	877,850	103%
助成事業	13,537,000	11,892,500	△1,644,500	88%
広報活動事業	17,090,000	16,204,548	△885,452	95%
特定業務受託事業	239,894,000	280,931,651	41,037,651	117%
駐車場事業	679,517,000	680,051,528	534,528	100%
販売事業	104,270,000	94,675,252	△9,594,748	91%
法人会計	1,174,000	3,251,235	2,077,235	277%
計	1,189,760,000	1,215,174,571	25,414,571	102%

経常費用(平成24年度)

事業別	経常費用予算額	経常費用決算額	差額	(単位：円)
				比率
公園施設管理事業	220,641,000	220,348,071	△292,929	100%
美化清掃事業	103,119,000	105,387,790	2,268,790	102%
助成事業	15,222,000	16,044,317	822,317	105%
広報活動事業	29,506,000	33,851,558	4,345,558	115%
特定業務受託事業	202,428,000	212,109,755	9,681,755	105%
駐車場事業	300,432,000	340,605,697	40,173,697	113%
販売事業	88,525,000	95,232,134	6,707,134	108%
法人会計	261,372,000	255,998,537	△5,373,463	98%
計	1,221,245,000	1,279,577,859	58,332,859	105%

(2) 資金調達等の状況

1. 資金調達

平成24年度は、銀行借入れを行わなかった。

2. 設備投資

財団法人日本宝くじ協会から助成金36,750千円を受け、鳴門（瀬戸内海国立公園内）に休憩所（あずまや）を整備した。

(3) 直前3事業年度及び当該事業年度の損益及び資産の状況

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	(単位：円)
				平成24年度 (当該事業年度)
経常収益	1,239,965,955	1,246,196,645	1,144,434,180	1,215,174,571
経常費用	1,280,063,307	1,311,125,368	1,218,915,997	1,279,577,859
当期経常増減額(*)	△40,097,352	△64,928,723	△74,481,817	△64,403,288
当期一般正味財産増減額	△37,540,776	△39,321,372	140,999,806	△46,508,288
一般正味財産期末残高	238,567,669	199,246,297	340,246,103	294,121,540
指定正味財産期末残高	1,278,949,175	1,273,840,117	1,081,795,754	1,087,987,285
正味財産期末残高	1,517,516,844	1,473,086,414	1,422,041,857	1,382,108,825

(*) 評価損益調整前

(4) 事業内容

I 概要

当年度は、東日本大震災の影響による浄土平駐車場の無料開放等の影響による収入の伸び悩みはあったが、前年度に引続き本部及び支部において美しく清潔な自然環境のもとで快適な公園利用が促進されるよう、次の各事業を実施した。各事業で不足する資金は従来通り、主に駐車場事業収入の余剰を充てたが、駐車場事業収入のみでは不足となった部分は一般正味財産の余剰も充当した。（前年度と異なり基本財産は取崩さなかった。）

なお、平成23年2月に鹿児島・宮崎県境の新燃岳が噴火したことにより、以後えびの支部及び高千穂河原支部は休業状態に陥っていたが、噴火が収まったため平成24年度中に駐車場事業を再開することができた。一方、東日本大震災後の福島県への観光客誘致対策のため、福島県と環境省からの要請により浄土平駐車場を平成23年7月より休止しているが、現状もなお駐車場事業を再開できない状況にある。

II 実施事業等の部

1. 公園施設管理事業

(1) 公園施設管理事業の実施状況

公園施設管理事業は公園利用者のために、快適な公園環境を提供することを第一の目的とする事業であり、20支部において事業展開している。その財源の大部分は、駐車場事業収入であるが、この他にキャンプ場管理業務に伴って受け入れる「清掃協力費」（9支部）、公衆トイレにおける「チップ」収入（2支部）等があり、これらを含め公園施設管理事業の収益の総額は、99,014千円であった。

(2) 公園施設管理事業の運営に係る費用の状況

この事業に要した費用は、総額220,348千円であった。実施した内容は次のとおりである。

- ① 公衆トイレの清掃管理
- ② 園地、指導標及び案内板などの公園施設の補修や維持管理、簡易施設の設置
- ③ ビジターセンターの維持管理事業
- ④ 自然観察会、自然体験プログラム等の自然ふれあいの行事の実施
- ⑤ 自然情報及び利用案内等のニュース誌やリーフレットの作成
- ⑥ 自然探勝路におけるセルフガイドシステムの展開
- ⑦ キャンプ場及び上高地公園活動ステーション（研修施設）の管理
- ⑧ 駐車場やその周辺の除雪管理

2. 美化清掃事業

(1) 美化清掃事業の実施状況

国立公園の美化清掃は、環境省、道・県、市町村、地元民間団体の4者が資金提供をしており、当財団はこの4者に資金を上乗せすることにより、美しい自然環境の保全を図っている。平成24年度の4者からの資金提供は29,154千円であった。事業実施の方法は、当財団支部が4者から資金提供を受け、さらに資金を上乗せして自ら事業を実施する方式と、当財団が既存の地元清掃団体に資金を提供しその団体が実施する方式がある。

(2) 美化清掃事業の運営に係る費用の状況

美化清掃事業は、広大な清掃区域を自動車で巡回したり、園地や遊歩道を徒歩でパトロールすることにより、「散在ゴミ」を回収し、処分する仕事であることから、その経費の大部分は賃金である。この事業の財源として、上記の4者から受ける補助金等の他、駐車場事業収入及び一般正味財産の余剰を上乗せしており、その費用の総額は、105,388千円であった。

① 環境省との「請負契約」と地元道県・市町村の「清掃活動補助金」に基づき、当財団が事業を実施している次の13事業地においては、補助金・請負等の収益 29,154千円に駐車場事業収入その他52,992千円を加え、合計82,146千円で実施した。

知床支部、川湯支部、阿寒湖支部、支笏湖支部、登別支部、昭和新山支部、大沼支部、鳥取支部（2事業地）、鳴門支部、雲仙支部、えびの支部、高千穂河原支部

② 地元清掃団体が事業を実施している次の8事業地においては、財団として23,242千円を負担した。

十和田支部、八幡平支部、浄土平支部、日光支部、草津支部、箱根支部、上高地支部、阿蘇支部

3. 助成事業

(1) 助成事業の実施状況

自然公園内におけるボランティア活動に対して、公益信託自然保護ボランティアファンドの助成金により支援する事業と、主に岡山県、香川県の地域において、環境保全、美化清掃、思想普及事業を実施している活動団体に対して財団独自の資金により支援する2つの事業を実施した。これらの事業の資金源は基本財産運用益の一部 5,893千円とボランティアファンド支援費6,000千円の併せて11,893千円であり、事業に使用した費用は16,044千円であった。

(2) ボランティアファンドによる助成費の状況

公益信託自然保護ボランティアファンドから助成金 6,000千円を受けて、各地の国立公園・国定公園の保護や利用指導に活躍する自然保護ボランティア25団体に活動費を助成し、その活動を支援した。これらの団体には、アオウミガメの産卵場所となる海岸の清掃、シカ防止柵の設置、ギフ蝶の保護活動、外来植物の除去や荒廃裸地の植生復元を行う団体などが含まれている。

(2) その他助成事業の助成費の状況

岡山県及び香川県地域（本四地域）の他支部事業地において行われる環境保全、美化清掃、思想普及事業の活動をしている団体に対して、5,893千円の助成を行った。

4. 広報活動事業

(1) 広報活動事業の実施状況

広報活動事業は事業地以外も含む全国の自然公園を対象とする事業である。この財源は主に基本財産等の運用益、情報誌販売収入、受取寄付金計16,205千円であり、不足する分は駐車場事業収入等で補っている。

(2) 広報活動事業の費用の状況

広報活動事業の費用の内訳は以下の通りである。

① 財団ホームページの刷新と運用	1,774千円
② 情報誌「パークガイド」の発刊、改定	11,861千円
③ 月刊誌「国立公園」の発刊	6,707千円
④ 野生動物写真コンテストの実施	1,839千円
⑤ 国立公園マンガガイドの作成	931千円
⑥ 人件費等	5,091千円
⑦ その他	5,649千円
総額	33,852千円

Ⅲ その他事業等の部

1. 特定業務受託事業

本部及び20支部において、環境省・地方公共団体等からの公園施設の維持管理業務及び財団の公園管理技術に基づく調査業務等の受託事業を行った。この事業の収益額は280,932千円であったが、駐車場事業収入の減少をカバーすべく積極的に受託業務の取り込みを図ったことにより、前年度比17,729千円増加し、過去最高の受託額となった。また、費用は212,100千円と受託事業の増加にともない前年度比16,788千円増加した。受託業務の実施内容内訳は次のとおりである。

① ビジターセンター等の維持管理、自然ふれあい行事等の実施（14支部）

知床・川湯・阿寒湖・支笏湖・十和田・八幡平・浄土平・日光・箱根・上高地・鳥取（大山）
雲仙・えびの・高千穂河原

② 公衆トイレの清掃・維持管理（13支部）

川湯・阿寒湖・支笏湖・十和田・八幡平・浄土平・日光・上高地・鳥取（砂丘）・鳴門
雲仙・阿蘇・高千穂河原

③ 園地、歩道等の維持管理、園路や公共施設の除雪・排雪（17支部）

知床・川湯・支笏湖・登別・昭和新山・大沼・十和田・八幡平・浄土平・日光・草津・上高地
鳥取（砂丘、大山）・鳴門・阿蘇・えびの・高千穂河原

④ 財団職員の清掃団体等への出向、交通整理要員の配置（6支部）

浄土平・上高地・鳴門・雲仙・阿蘇

⑤ グリーンワーカー事業等（10支部）

川湯・阿寒湖・支笏湖・十和田・八幡平・箱根・上高地・鳥取（大山）・雲仙・高千穂河原

⑥ 国立公園内における調査業務等（本部及び6支部）

本部・川湯・阿寒湖・支笏湖・昭和新山・十和田・日光

2. 駐車場事業

駐車場事業は、環境省及び地方公共団体が設置した駐車場の使用許可を得て、公共駐車場等の管理を実施することにより、公園利用者から「施設利用・環境整備」に充てる駐車場料金を受領し、もって公園の快適な利用の促進とリアルタイムの情報提供を行う事業である。この事業による20支部における収益額は、総額680,052千円で、前年度に比べ、54,717千円と8.7%増加した。なお、今年度当該駐車場を利用した自動車の台数は、約125万台で、前年度に比べ5.9%の増加であった。その概算利用者数は、約726万人であった。

前記の事業を展開するために、料金受領と利用案内を担当する駐車場班職員を配置している。この体制を整える経費には、公共駐車場用地等の使用料、事故対応の各種保険料、職員の被服、利用券印刷の費用などがあり、その総額は、340,606千円であった。収益額と費用の差額339,446千円は実施事業等の費用の不足額に充当した。

3. 販売事業

本部及び20支部においては、ビジターセンターや財団支部事務所等の窓口で、自然に親しむための参考図書や、利用者の便に供するためのネイチャーグッズ等の販売を行った。販売収益は94,675千円であり、その費用は95,232千円であった。

4. 法人会計（管理費の部）

管理費（事務費）は、255,999千円であり、前年度比1,733千円の減少と、前年比ほぼ横ばいであった。

(5) 役員等に関する事項

1. 定数（上限） 評議員 7名 理事 7名 監事 2名

平成25年3月末現在の役員等（団体名は平成25年3月31日時点のもの）

	氏名	他の主な役職
評議員	池邊 このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科教授
評議員	上 幸 雄	NPO法人山のECHO代表理事
評議員	小澤 紀美子	東京学芸大学名誉教授
評議員	鹿野 久 男	
評議員	下村 彰 男	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
評議員	南 正 人	麻布大学獣医学部講師
評議員	森 仁 美	社会福祉法人同愛記念病院財団理事長
代表理事（理事長）	熊谷 洋 一	東京大学名誉教授
代表理事（専務理事）	阿部 宗 広	
理事	坂本 葉 子	コンフォートスタイリスト
理事	竹村 節 子	旅行作家
理事	本木 總 子	社団法人日本山岳協会顧問
理事	油井 正 昭	桐蔭横浜大学医用工学部客員教授
監事	高橋 進	共栄大学教授
監事	古田 昇	公認会計士

2. 理事会評議員会の開催状況

理事会

開催年月日	決議事項
平成24年6月4日 （書面決議）	平成23年度事業報告の承認 平成23年度決算報告の承認 公益目的支出計画実施報告書の承認 経理規程改定の承認 評議員会の招集及び評議員会に提出する議案の承認
平成25年2月21日	平成25年度事業計画案の承認 平成25年度予算案の承認 評議員会の招集及び評議員会に提出する議案の承認

評議員会

開催年月日	決議事項
平成24年6月12日	平成23年度事業報告の承認 平成23年度事業報告の承認
平成25年3月12日	平成25年度事業計画案の承認 平成25年度予算案の承認